民報 あばしり
NO.1307
3月7日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四二一－四四五八
FAX 四二一－四四五七

網走市議会第1回定例会

議員一丸となって市民の声を届けます！

令和３年網走市議会第１回定例会が３月２日に開会しました。

水谷市長は、来年度はコロナ感染による影響で市民税を中心に歳入の落ち込み（約５億円）は避けられないが、地方交付税などにより緩和される。一方、歳出については高い公債費が続く中でも、コロナ対策や医療体制、公共交通の維持・充実を進めるとの市政執行方針を述べました。

コロナ対策

☆ワクチン接種体制整備、感染防止費用や検査費用助成。

☆経済対策としてプレミアム付き食事券や宿泊クーポンの発行。

地域医療

☆泌尿器科病棟の再開と高度医療機器の整備、看護師確保対策

公共交通

☆どこバスの路線拡充

教育・子育て

☆学校給食は継続していくための運営体制整備、集約化

☆生徒１人１台のタブレット端末整備など

☆認定こども園（網走幼稚園）の整備

☆新生児子育て祝金、未熟児養育医療給付

介護保険

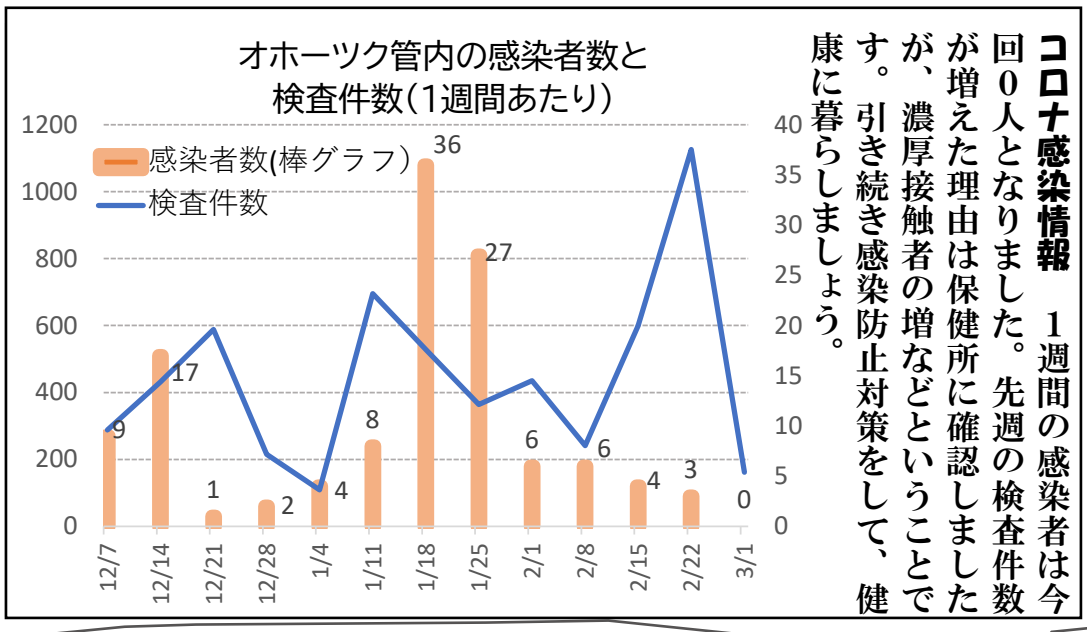
☆介護保険料の上昇（０．95％）

松浦議員の代表質問は10日

松浦議員が10日にくらし・福祉優先の市政を求めて代表質問を行います。

予算等審査特別委員会の審査は11日～18日までです。傍聴をお願いします。

コロナ感染情報　１週間の感染者は今回０人となりました。先週の検査件数が増えた理由は保健所に確認しましたが、濃厚接触者の増などということです。引き続き感染防止対策をして、健康に暮らしましょう。



令和３年度予算

	令和3年度	対前年比
一般会計	243億96百万	5.7%増
6特別会計	99億73百万	0.3%増
国保、介護、後期高齢、市有財産、網走港、能取漁港		
企業会計	49億11百万	3.8%減
水道、下水道、簡易水道		

松浦さとし奮戦メモ

２０２１年網走市議会第１回定例会（３月議会）が２日に開会されました。この日は、市長の市政執行方針と教育長の教育行政方針が示され、新年度予算案の説明と条例改定案及び２０２０年度補正予算案が提案されました。

今議会の特徴は、昨年来の新型コロナ感染症対策など、国の第３次補正予算の関係で各分野にわたって多数の事業が展開されることから、理事者側からの提案だけで午後２時近くまで本会議が続きました。本会議初日からこれほど時間がかかることはあまりありませんから、いかに案件が多いかが分かります。この提案を受けて補正予算については４日総務経済委員会、５日は文教民生委員会が開かれて審査が行われることになります。私の所属する総務経済委員会だけで52本の補正の事業があり、審査は午後まで続くと思われますが、これほど多数の事業が提案されることは記憶にありません。

柯ちゃんが駆ける

先日の雪は愛車ダイハツハイゼットがガタガタと飛び跳ねるほど悪路となりました。日中も降り続け、除雪が進まなかったためでした。夕方、行き交う車も時速20キロほどのゆっくり運転となり、こんな運転も良いもんだなと思いました。

低気圧のおかげで、流氷はしっかりと湾に入ってきました。しかも快晴となり、美しいオホーツク海と知床連山です。観光客は大喜びのことでしょう。

コロナ感染防止のため、不要不急の外出は控えてと言われますが、観光は不要不急なのでしょうか。私は、仕事に追われ、時にはホッとしたい。日常を忘れたい。そんな時には観光は欠かせないと思います。オーロラからの絶景とおいしい空気をすって、また、元気に仕事に励んでもらう。おいしいまち網走がおもてなしをします。是非、来てください。

流氷

港の近くを散歩していると、船上げ場では人が集まり船の整備をしている。『今年の海明けは、３月11日頃だべ』と聞くと、ホタテを取る漁船で３月15日から始まるホタテ漁の準備をしているところと言う。２月中旬に３槽の小舟が、冷たい西風の中、流氷の間を縫ってウニ漁をしていた。２、３日で漁は終わった。コロナ感染症の影響で売れないからだ。

▼暖かい日に、駒場木の広場を散歩、眼下の海は一面流氷、知床連峰がとても近く見える。以前、新聞の北見版に、エゾモモンガの写真が掲載された、ネット上でも拡散、道内外から多くの人が訪れる。早朝より、大きな望遠レンズを付けたカメラでモモンガを狙う、堪らず巣穴を移動し姿が見えなくなった。エゾリスも一時期とても少なくなったが最近はよく見かける、人の足音で誰かわかる様で、身体に駆け上がり落花生を貰うエゾリスもいて驚く。野鳥も多くヒマワリの種を置くと、すぐに飛来、シジュウカラ、ハシブトカラが多いが、ある日ウソが初めて姿を見せた。首の周りが赤くてとても綺麗な鳥だ。『エサを与えるな!!』と、怒る人もいるが、この一年、コロナ感染症で疲れた『心』を癒やしてくれる野鳥や、エゾリスに感謝しているのは私だけではないだろう。顔見知りの女性が『あそこにエゾフクロウがいる』と、指を指す。今日もポケットに、ヒマワリの種を入れて木の広場へと向かう。　アスリート爺